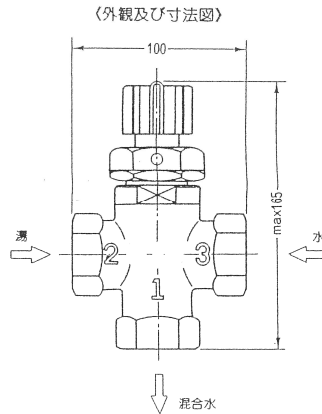


# 自動ミキシングバルブ 取扱説明書

## ① 構造と動作

2側は給湯器または給湯管に接続し、3側は給水管に接続します。器内に流入し、混合道でよく混合された混合水温の変化をサーモエレメントで検出し、エレメントに応動する弁軸を介して弁体を移動させます。

これによって温・冷両水圧の開度を調節し、流量を制御して混合比を変え、混合水温がエレメントの設定温度に一致すると、弁体は定位置を保持して、定温の混合湯が1側より流出する構造になっています。

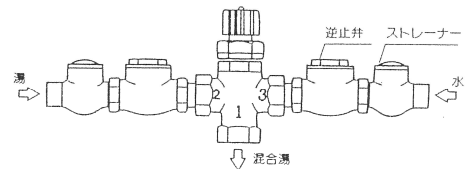


### 《仕様》

●温度調整範囲	TM-25 30~50℃
●標準セット温度	40℃ 40℃±3degC
●温度精度	温水温度変動幅80℃±10degCの時の、混合湯の温度変化量(標準セットの温度の時)
●ダイヤル回転角度	約340° 40f/min以上(標準セット温度)
●混合湯量	給湯圧 0.06MPa 水圧 0.06MPa
●使用圧力範囲	湯圧 0.03~0.3MPa 水圧 0.03~0.5MPa
●熱湯側許容温度	100℃
●耐圧試験	1.75MPa
●外観寸法	58×100×165max
●接続口径	PT1
●製品重量	1.7kg

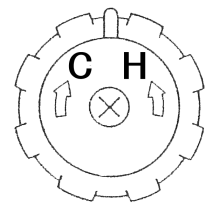
## ② 取付け上の注意

1. <ミキシングバルブとしての配管方法> 2側に給湯接続、3側に給水接続、1側は混合水出口を接続してください。
2. <自動切換バルブとしての配管方法> 1側に混合水接続、2側は低温側出口、3側は高温側出口を接続してください。
3. このバルブに接続される給水管、給湯管に60メッシュ以上のストレーナーを取付け、ゴミがバルブに入らない様に注意してください。
4. 水と湯の圧力に差がある場合、逆流する恐れがありますので、水側と湯側に逆止弁を取付けてください。
5. 水、湯、混合湯の配管接続の際、ユニオン等を取付け、取りはずせる様にしてください。
6. 銅管を溶接配管する場合、銅管の温度がさがってからバルブを取付けてください。



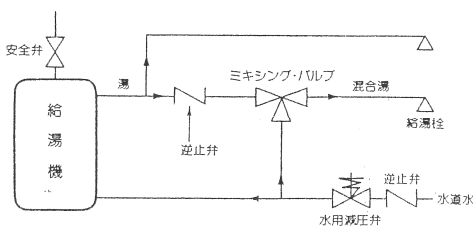
## ③ ご使用の注意

1. 先ずご使用の前に給湯器の温度が混合湯の希望温度より20℃以上高くなる様に給湯器のサーモスタットをセットしてください。
2. 次に混合湯出口側バルブを開けその温度を基準として温度調整ダイヤルを調整してください。左へ廻せば高温に、右へ廻せば低温になります。
3. 流量は10L以上として使用してください。
4. 使用始めは配管内の水が出ます。次に1~2秒間セット温度よりやや高い温度の混合湯が出ます。適温を確認した後、ご使用ください。



## ④ 配管使用例

(1) 減圧弁を通し水圧、湯圧を同圧とした場合



(2) 自動切換バルブとしてソーラーシステムに接続する場合

